※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００１

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅠ	1	第２学年	Power On English Communication Ⅰ/ 同 Workbook (以上 東京書籍) 英単語 Stock3000 (文英堂)

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅠの授業は、「聞くこと」、「話すこと（やりとり、発表）」、「読むこと」、「書くこと」という４技能５領域の力をつける授業です。聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。
・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習しましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校などの身の回りのことについて聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、趣味やクラブ活動など、身近なトピックについての短い話を聞き取ることができる。	・簡単な語や基本的な表現を用いて書かれた身近なトピックに関する短い文章を、挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。 ・日常生活で用いられる簡単で短い文章（携帯メールなど）を理解することができる。	・簡単な語や基本的な表現を用いて、好き嫌いやできることできないことなど日常的な事柄についてやり取りをすることができる。	・前もって準備した上で、絵や写真など視覚的補助を利用しながら、決まった表現や形式を用いて、自分や他人のことを紹介することができる。	・簡単な語や基本的な表現を用いて、趣味や好き嫌いについて箇条書きで複数の文を書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	Lesson 1 “Japan’s New Tourism” Lesson2 “Light from Creatures”	聞くこと	a: 英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b: 日常的な話題（「日本の新しい観光」や「光る生物」等）について、視覚情報などを参考にしながら、必要な情報を判断し、聞き取っている。 c: 日常的な話題（「日本の新しい観光」や「光る生物」等）について、視覚情報などを参考にしながら、必要な情報を聞き取ろうとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 時間を表す表現、受動態の意味や働きを理解している。 b: 身近な事柄（「日本の新しい観光」や「光る生物」等）に関して英語で書かれた説明を読んで概要を捉えている。 c: 身近な事柄（「日本の新しい観光」や「光る生物」等）について英語で書かれた説明を読んで概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 時間を表す表現の意味や働きを理解している。 b: 身近な事柄（行ったことがあるか行きたい場所、または自分の住んでいる地域）について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。 c: 身近な事柄（行ったことがあるか行きたい場所、または自分の住んでいる地域）について、簡単な語句や基本的な表現を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 時間を表す表現、受動態の特徴やきまりに関する事項を理解している。自分のことや身のまわりのものを紹介するために必要な書く技能を身に付けている。 b: 身近な事柄（行ったことがあるか行きたい場所、または自分の住んでいる地域）について、簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。 c: 身近な事柄（行ったことがあるか行きたい場所、または自分の住んでいる地域）について、積極的に書こうとしている。	ライティング課題 （スピーキング原稿）
	中間考査			
	Lesson 3 “Routes to the Top” Lesson 4 “Left to Right, Right? Lesson 5 “Banana Paper”	聞くこと	a: 語の強勢について理解している。 b: インタビューを含め、日常的な話題（スポーツ、漫画、果物）や SDGs に関する会話を聞いて、おおまかな情報を聞き取っている。 c: 日常的な話題（スポーツ、漫画、果物）や SDGs に関する会話を聞いて、おおまかな情報を聞き取ろうとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 論理を表す語句に注意しながら、読むことができる。 b: 日常的な話題（スポーツ、漫画、果物）や SDGs について英語で書かれた会話や説明を読んで、概要を捉えている。 c: 日常的な話題（スポーツ、漫画、果物）や SDGs について英語で書かれた会話や説明を読んで、概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やりとり）	a: 相槌を打ったり、聞き直したりする等、コミュニケーションを円滑にするための言語の働きを理解している。語の強勢について理解している。 b: 日常的な話題（スポーツ、漫画、果物）について、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。 c: 日常的な話題（スポーツ、漫画、果物）について、聞き手に配慮しながら主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 動名詞、不定詞、分詞、関係代名詞の形式や意味、使い方を理解している。好きなものについて伝えるために必要な書く技能を身に付けている。 b: 日常的な話題（スポーツ、漫画、果物）について、まとまりのある文章を書いている。 c: 日常的な話題（スポーツ、漫画、果物）について、まとまりのある文章を書こうとしている。	ライティング課題 （スピーキング原稿） 定期考査 （ライティング）
	期末考査			
後期	Lesson 6 “Patterns in Human Behavior”	聞くこと	a: 感情を表す表現を理解している。文の強勢について理解している。 b: ニュースや心理学実験に関する説明を聞き、情報を整理している。 c: ニュースや心理学実験に関する説明を聞き、情報を整理しようとしている。	小テスト （リスニング）

※令和４年度以降入学生用

	Lesson 7 “No Plastic or No Future” Lesson 8 “Oh My Cod!”	読むこと	a: 理由を表す英語の表現を理解している。グラフの読み取りをしながら英文を読む技能を身に付けている。 b: 社会的な話題（環境問題や食料資源と SDGs）について英語で書かれた説明を読んで、概要を捉えている。 c: 社会的な話題（環境問題や食料資源と SDGs）について英語で書かれた説明を読んで、概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やりとり）	a: 感情を表す表現を理解している。文の強勢について理解している。 b: 日常的な場面(買い物、食事等)について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、決まった表現や形式を活用しながら会話をしている。 c: 日常的な場面(買い物、食事等)について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、決まった表現や形式を活用しながら会話をしようとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 文型について理解している。また、関係詞の形式や使い方を理解している。 b: 社会的な話題（環境問題や食料資源と SDGs）について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の意見を書くことができる。 c: 社会的な話題（環境問題や食料資源と SDGs）について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の意見を書こうとしている。	ライティング課題 （スピーキング原稿） 定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 9 “Is E-sports a Real Sport?” Lesson 10 “Being Different Is Beautiful”	聞くこと	a: 意見を論理的に述べる際の英語表現を理解している。 b: インタビュー形式の会話を聞き取り、情報を整理している。 c: インタビュー形式の会話を聞き取り、情報を整理しようとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 仮定法の特徴やきまりを理解している。事実と仮想、あるいは事実と意見を区別して読むことができる。メリットとデメリットを対比するなど、情報を整理しながら読むことができる。 b: 賛否や異なる意見がありうる話題（e スポーツ、異文化等）について英語で書かれた説明を読んで、概要を捉えている。 c: 賛否や異なる意見がありうる話題（e スポーツ、異文化等）について英語で書かれた説明を読んで、概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 意見を論理的に述べる際の英語表現を理解している。身近な事柄について、視覚的補助や聞き手がわかりやすい表現を用いるなど、聞き手に配慮しながら説明や提案をすることができる。 b: 身近な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、説明や提案をしている。 c: 身近な事柄について、視覚的補助、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞き手に配慮しながら説明や提案をしようとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 意見を論理的に述べる際の英語表現を理解し、それを用いて文を書くことができる。 b: 身近な事柄について、まとまりのある文章を書き、論理的に説明したり提案したりしている。 c: 身近な事柄について、まとまりのある文章を書き、論理的に説明したり提案したりしようとしている。	ライティング課題 （スピーキング原稿） 定期考査 （ライティング）
	期末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度